



# ときわ便り



第8号 発行：ときわ病院 地域連携室

## <ジョンから一節>

北陸新幹線開業からずいぶん経ちますが、相変わらず多くの観光客が来県され、週末ともなると金沢駅は人であふれ、観光スポットも大賑わいです。人気スポットのひとつ金沢城では現在、城内と尾山神社を結ぶ「鼠多門橋」と「鼠多門」の復元工事が行われています。「杵形」の三御門とは異なり、鼠多門は石垣の上に造られ、二層の檜を持ちます。名前の由来には「建設時にネズミが多くいた」「ネズミ色の外観をしていた」の二説がありましたが、復元前の発掘調査で黒漆喰が発見され「ネズミ色の外観」説が有力になっています。しかし、なぜ黒でネズミなのでしょう？黒ならカラスでは？その名も「烏多門」！ネズミにしるカラスにしる多いと気持ち悪いことにはわかりありません。

## 民生委員の皆さんが見学に来られました

先日、野々市市の民生委員 22 名が、ときわ病院及び地域活動支援センターののいち（地活）、グループホームすまいるの見学に来られました。

病院では当法人や病院の概要、デイケア等についての座学、地活ではサービス内容や活動について、グループホームではホールやお部屋を見ていただきながら、入居者の生活について説明がありました。質疑応答では地活と地域包括の事業の違いについて質問が集中していました。当日は水曜日ということでランチリリーがありました。この日のメニューはカレー。民生委員の皆さんにも堪能していただきました。



地域活動支援センターののいちにて



お腹がいっぱいになったところで、午後からは当院ならびにセンター、グループホームのソーシャルワーカーとの意見交換会を行いました。民生委員さんからは、精神疾患を持つ方やそのご家族との地域での関わり方や、情報共有のあり方に関する意見があげられました。一方ワーカーからは民生委員の役割や情報管理について質問がありました。お互いに知っているようで知らない事が多々あるということがわかり、連携強化の為には相互理解を深めることが重要であると確認する貴重な機会となりました。

意見交換会の様子